

▷ 芦屋市民憲章 ◇
わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきずきましょう
- 自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましょう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましょ
- 灾害や公害のない清潔で安全なまちにしましょ
(昭和39年5月3日制定)

広報あしや

昭和50年 6月20日 第346号

発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オーラル出版印刷 毎月2回5月20日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)

芦屋市の人口と面積

—6月1日推計人口—

人口総数	76,492	世帯数	22,323
男	36,613	面積	16.07km ²
女	39,879		



芦屋川戸で行なわれた市消防本部の水防訓練

「つゆ」の季節 雨への備えを十分に

あなたの宅地 は安全ですか

芦屋警察署・市・市消防本部が合同で行なった総点検で、二十二か所が災害危険区域にリストアップされました。この中には、がけくずれなど、家屋が倒壊または埋没する恐れのあるものが十ヵ所あります。これらについては、宅地保全に努める旨の通知書を発送したり、宅地保全勧告を出すなどの措置をとりました。

雨による浸水は、みぞに庭木の枯葉やビニールなどのごみがつまっているなど、ささいなことが原因になる場合があります。日ごろから宅宅の付近のみぞ、雨水マスなどの清掃にご協力願います。

もし、あなたの宅地について不

安な点がありましたら、県阪神建

築行政監理室(電話西宮〇七九八二三三五)か、市建設総務課(電話〇二二一)までお問合せくだ

さい。消防本部はこのような調査

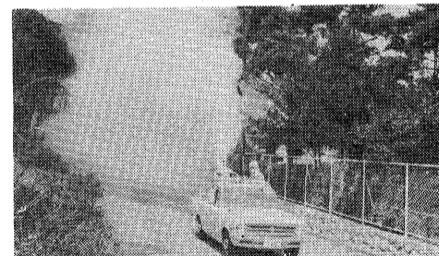
もしていません。各家庭では、

側溝はつまつ ていませんか



蚊・ハエ退治のため 夜間に粉剤を散布

夜間に粉剤を散布



- 敷布時間は午後10時に開始し翌日の午前3時に終了しますが、奥池地区のみ午後2時30分から3時までの間間に散布します。
- 敷布する薬は人畜無害ですができるだけ次のこととご協力願い
- 敷布当日は、広報車でお知らせします。
- 雨の場合は、その翌週の月曜日(月)に限り雨の場合は十九日(火)に順延します。

に消火器を高価に売りつける訪問販売員が横行しています。現在、各家庭に消火器を設置し入するようにしてください。

不審な場合は、市消防本部予防課(電話〇三四五)へお問合せください。

車は遠慮ください。▼粉剤散布は散布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布当日は、自動車の路上駐車をするが、車のかからないようにしてください。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布当日は、自動車の路上駐車をするが、車のかからないようにしてください。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

● 敷布車から空に向かって噴射しますから、散布作業車が通過してからしばらくして粉剤が降下します。

芦屋市民憲章

わたくしたち芦屋市民は

調査の特徴

国勢調査の年です

実施本部を設置
本年十月一日現在で、全国いつく調査員の選任については、現在せいに「国勢調査」が行なわれます。このため、市では強力かつ効率的な実施体制を整え、調査に万全を期すため、総務部文書行政課内に「国勢調査芦屋市実施本部」を設置しました。

本部長には総務部長、副本部長には文書行政課長を配し、企画・広報から機関コントール、流動人口調査の集計に至るまで、実施本部の目的達成に必要な事務を掌握推進することとしています。

この調査区を受け持っていただ

く調査員の選任については、現在地の自治会長さんにて推奨の力を頼りでございますので、みなさんのご協力をお願いします。

指定避難場所

この調査区を受け持っていただく調査員の選任については、現在地の自治会長さんにて推奨の力を頼りでございますので、みなさんのご協力をお願いします。

国勢調査の 標語を募集

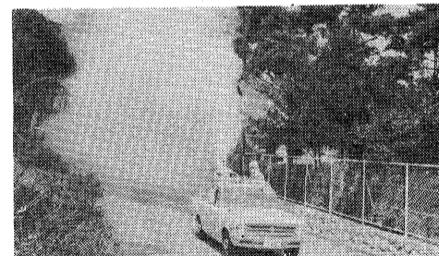
この調査区を受け持っていただく調査員の選任については、現在地の自治会長さんにて推奨の力を頼りでございますので、みなさんのご協力をお願いします。

最近、「法令が改正になって各家庭に消防器を置かなければいけない」とか、「消火器の有無を調べている」となど、ことは巧み

悪質な消火器 販売にご注意

最近、「法令が改正になって各家庭に消防器を置かなければいけない」とか、「消火器の有無を調べている」となど、ことは巧み

蚊・ハエ退治のため 夜間に粉剤を散布



地区	奥池地区	A地区(国鉄以北)	B地区(国鉄以南)
散布時間	午後1時30分～3時	午後10時～午前3時	午後10時～午前3時
1回目	6月27日(金)	6月27日(金)	7月4日(金)
2回目	7月11日(金)	7月11日(金)	7月18日(金)
3回目	7月25日(金)	7月25日(金)	8月1日(金)
4回目	8月8日(金)	8月8日(金)	8月18日(月)
5回目	8月22日(金)	8月22日(金)	8月29日(金)

捨てねこ

×××

芦屋市民として
はづかしく
ありませんか?

犬のフン

▶捨てねこは絶対にやめてください。

▶不要になったねこは、引取りの手続をしましょう。

▶手続は、はんこと手数料を持って、市衛生総務課(健康センター3階、電話〇二二一)へ。その後、交付された依頼書とねこを持って市内の家畜病院へおこしください。

▶引取手数料は、成猫1件につき600円、生後2週間以内は1件につき300円です。

▶野らねこをふやさないために、繁殖を目的としない飼いねこは、避妊去勢手術を受けさせましょう。

▶避妊手術(めず)…飼い主の負担額は3,000円。去勢手術(おす)…飼い主の負担額は2,000円。ただし、入院料・後治療費は含みません。

▶ご希望のかたは、市内の家畜病院へ直接お申込みください。

犬やねこは正しく飼いましょう。人に迷惑をかけないよう、飼い主の義務と責任を十分自覚してください。

違反すれば10万円以下の罰金または料金に処せられます。(県飼い犬条例第12条)



芦屋市衛生部

芦屋市役所(31)2121

(平日9:00～17:00、
土曜9:00～12:00)

市民センター(31)4995
(31)4996

図書館(22)5978
体育館(31)8228

市立芦屋病院(31)2156
ごみ焼却場(22)2155

道路側溝などの応急処理は

環境保全課機動班

32 0 1 2 1

平日8:30～16:30

土曜8:30～11:30



市政電話サービス

市政ニュース (31)4894

(みなさまへのお知らせです)

(いつもおききください)

留守番でんわ (31)4444

(夜間・日曜・祝日などご利用ください)

(お急ぎのときはいつでも(31)2121へ)



今までの主人は、いつの場合でも、引込みがちで、私が頼りがちで男らしくなかつたのです。どこへ行くにも、私がついて行き、自分で言わなければならんときに、私に言わせる、ひきょうな人でした。

私が、今まで、ほんのすこしぐらい字が読めたので、主人に、市役所からですよとか、私の兄弟からよと、手紙の表書きは読みます。だけれども、手紙の中味が全部は、わかりません。だいたいのようすぐ
らいは、読みとれます。ですから

長い間こまりました。

自分からあきらめていたのと、やる気がなかつたのと、勇気も努力もなかつた夫婦です。部落差別によつて、死ぬにも死にきれなかつた親子です。いくら部落差別をうけた地区の人でも、私たち親子ほどみじめなことはないと想います。いつまでも心の底にへばりついている。言うにも、語るも涙がとまらない。おなかに力を入れて言わないと、話がつづけて言えないのです。

すばらしく、

子どもが学校からお知らせを
持つて帰つてきました。「これ
読んで、書いてよ。あした、学
校へ持つていかんならんからな
あ」「うん、わかつた。今、ち
よつと、手はなされへんか
ら、そこに置いとき。あと
で書いたるから」といつて、
子どもを安心させ、外に遊
びに出しました。

ほんとうは、私は、字の
読み書きが出来ないです。
親として子どもに字をよう
いわん。一年生に入学して
間もないときの子どもに、
おかあさん、字よう書かん
のかといわれんとこ、子ど
もに馬鹿にされんとこと思
うたら、ウソついて子ども
をだました。

子どもにあとで書くから
といった手前、子どもに知れん
ように、何とかせんならん。字
の読み書きできる英子ちゃんに
子どもが寝てから頬みにいこう。
が情なかつた。

はりはずかしい。自分が字
う読み書きせんことを言
ならんし、言うたら他人に
られ、いつかは、子どもも知
しまう。どうないしようと
にくれ、行つてこうか
うしようと考えている
に、家の用事に追いま
れて忘れてしもた。

あくる朝になつて、
もが「きのう書いてく
か、おくれ。学校に持
いくねん」「あ、忘れ
た。きのう、いそが
てわすれてしまつた。
にんな。きょう中に書
くから」「持つていか
先生に怒られる。学校
どうにか学校にやつた
子どもに、ウソをつ
くのいやや」と、むず
子どもに、なだめすか
親としての、ふがいのない



て保障されている教育権か、同和地区の人ひとには著るし
解放運動で目ざめ
文字を取りもどす識字学級

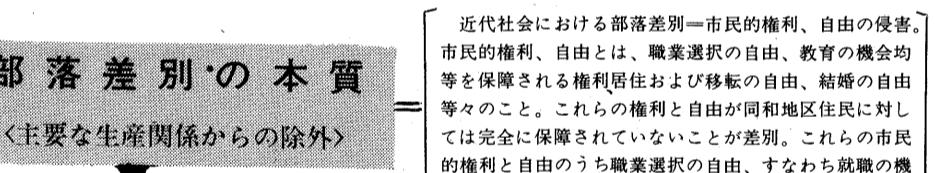
あいうえお、しきじがつきゅう、ぶらくさづつ。ひらかなを
一字一字、鉛筆を固く握りしめて、たどたどしく力いっぱい紙面を
切りさいしていくよに鉛筆が動く。一点一画、手本の漢字と、書く
ノートの間を頭と目が動く。文章を書き綴つていくにも、書いては
消し、消し直しては書いて、ノートの周囲には消しゴムのくずだら
け。それそれが、それぞれの段階に合った字の勉強を続けています。
これは、小学校低学年時の授業風景ではありません。同和地区にお
いて行なわれている識字学級のひとこまです。参加しているかたは
六十代、五十年から二十代、十代の後半の人たちの、文字どおり字
を習っている姿なのです。

おとなが文字を満足に知らない、書けない、読めない。

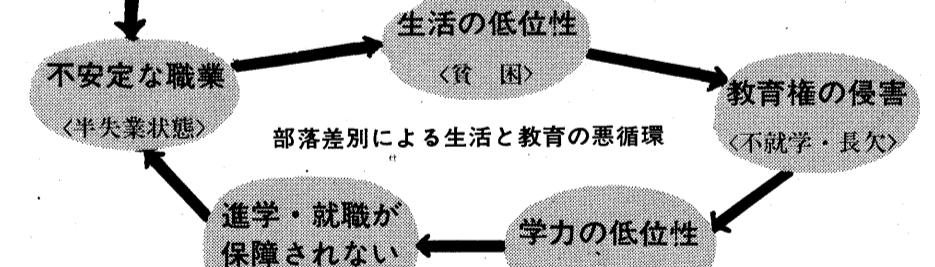
これは、一体どういうことなのでしょうか。「文字が書けない、読
めない、それは本人が勉強しなかつたらだ」と、一言のもとに
いたずけてしまう人が多いようです。しかし、本人が勉強したい、
字を習いたいと思っても、それが満足にできない状況が、同和地区
の本質が隠されているのです。

下の図を見てください。部落差別が現実にあるために満足な職に
つけない、貧困で学校へも十分に行けない、満足な職につけない、
この悪循環が同和地区に大きく、いつもつまどってきたのです。
部落差別は観念的なものでは、決してありません。それは、同和地
区の人びとの生活そのものと深くかかわって存在するのです。すな
べての人に知らすことになるのです。こうした迷いや恥を乗りこえて
この識字学級に参加して、始めて字を覚えた喜び、そこに参加する人び
とがお互いに励まし合い、支え合って人間の暖かさにふれながら、
人間として生きる喜びと誇りを取りもどす運動がこの学級なのです。
今回は、この識字学級で勉強しているかたがたの多くの手記から
その一部をご紹介するとともに、部落の現実から部落解放への理解
をより深め、解放への行動の一助にしたいと思います。

文字を知らないことが生活権を奪う



機会均等が完全に保障されていないことがとくに重大。



（進路の閉鎖） （無教育）

仕事をみなー断

父が身体が弱く働けないので、母ちゃんの「葵ま
してはいるすがたみてたら、学校へ行く気になれ
かつた。一銭でも、もうけて、母ちゃんの喜ぶ顔
みたいと、職さがしに行つた。「募集」という字が
からず、人に聞くと、使う、と書いてあると教え
られたので、会社に行つた。

書	今	自	差	学	識	現	差	ヒ	年
さ	な	己	別	ぶ	字	在	別	う	お
つ	う	と	ク	一	單	つ	さ	か	い
ブ	ば	ウ	重	文	板	姿	れ	な	て
う	怒	戦	チ	字	で	あ	し	め	一
ク	ハ	ウ	一			り	め	宇	ぶ
こ	を	リ	文			え	ん	字	
め		ニ	字			く	に		
て		え	き				も		
		て							

かって、
火薬と水
り玉がい
かって居る
紗に参加し
た。参加す
いた事。
人には、
だと言うふ
かけで来た
て行く事
せん左衛門
の出来させ
て書く事
人の親が一
ておりまし
てかつたの

「部落解放
大人の勉強会」に参加して
瞬数たてきてさくには多くはま
意見も多めに左の耳から右
て感じたこと
けない。字を考
かんじんの話を
けでは意味がな
えして考えてい
めに一字でも多く
はじめ 識字学級に参
一トに書いた。
「今日はじめ

級に参加した。
参加しているみんなが、感想文のなかで、書いた本人が読む。読み方ではあるが、しんけんにけんめいにやつておられる努力がうれた。
わたくしは、まだ少し字が書け純粹な努力の姿がうらやましく思ひも、こんばんから、一生けんり組んで、子どもに勉強する姿の態度を示していこうと思つ」
の事で忙しい日々を過ごされて引続き、木曜日の識字学級でも学級をのぞいてみるのも大切や。色々な年令の人が文字を習つた時、漢字の覚え方一つにしては、小さい頃から競争しながら新しい字が読み上げられて、

文を書く。そ
たどたどしい
、いつしう
に、胸を強く
けるけれども
思った。わた
めい勉強に取
勢を親として
いることと思ひ
分らない点や
し合つて一人で
ませんか。それ
と思います。
たり、本を読ん
でいます。

勉強になつていたと思う。だけど、私は北上さん一家を見て、本当に文字が必要やからやつているんやということを生活に結びついてくることを、さまざまざと考えさせられました。そして、書き順や、画数なんかも点検していくようになりました。

また、私は、小学校から高校まで鉛筆を握り、文字を書いていました。言葉では数十年間、文字も書いてへんかつた人が、文字を覚えて書くのはしくどいやうなど人ごとに考えていたがやっぱり北上さん一家の中にはいり込み中で、文字を覚えるのはしんどいけど、喜びを味あわせてくれたと思います。私に文字が書けるのがどうぜんでも、喜びというものがぜんぜんなかつたのです。

そして、私は、この識字学級と学級（学力促進学級）を結びつけていきたらいいし、私自身人間らしい、あたたかいく間にになりたいから。

長々と書きましたが、やっぱり自分の識字学級やし、要求があつたらしくはあると思う。そんなんで、神人もやつぱり教えている人に教えられたことはあると思う。みんなで、神字学級のみなさん参加して勉強していきましょう。

「そんなに身体がおかしからお医者にいきな」「うん」と返事は医者に行くとも行かつかん気のない返事がかえる。後かたづけに手がかかり者行きのことはそのままにな朝の後始末が一段落して、に出る支度をしながら「あんどうするの」「うん」と生返事をえてくる「ほんとうに、ばする。行くのか、いかへんのはつきりしないな」いさきか晦てて強くいった。主人は思つたように「お前ついでいってへんか」と、子どものようひと年いたるよい年をして、の男が何を言つてんのかと思が、主人の身体は他にかけがない。「しようない人やなち勤め先に休むことを電話してからお医者に行けるようにしよ」と電話をかけにいった。

かつた
主人の
こととも
と用紙とボールペンが出された。
主人が「お前書いてくれ」という。
「自分で書きいな」といったが「ペ
ンもたれへんからお前書いてくれ」という。そんなにしんどいんかと、
しかたなく書いた。
こんなことがあって、別に何と
ことなえ
も思つていなかつたが同じような
ことが一度、三度とあって、私は、
腹を立
てつ
みかきできへんのとちがうかと疑
いだした。あんのじよう主人は字
が書けないことがわかつた。それ
も、結婚後数年してからやつた。
字が書けないと夫婦になつてからも、嫁であり、妻であ
る私が言えないという気持は主人
にしかわからない。

